

ひゅーまん ねつとわーく



2017年 10月 発行 / 第71号

社会福祉法人 北摂杉の子会

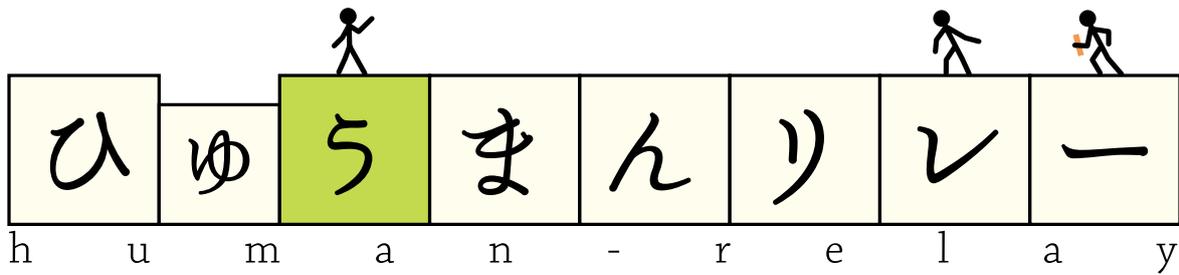
〒569-0071 大阪府高槻市城北町1丁目6-8 奥野ビル3F TEL 072-662-8133 FAX 072-662-8155 info@suginokokai.com



北摂杉の子会 二十周年記念セミナー
自閉症スペクトラムの人たちとのコミュニケーション
年齢・発達・状態に合わせた伝え方や表出の工夫
会場 高槻市立生涯学習センター
2階 多目的ホール

北摂杉の子会 法人設立20周年記念セミナー 第4回 北摂杉の子会研修セミナー

左下 受付をするジョブジョイントおおさかたかつきランチのご利用者



中核地域生活支援センターの 活動とこれから

中核地域生活支援センター 長生ひなた 所長

千葉県中核地域生活支援センター 連絡協議会 会長

しぶざわ

しげる

茂 さんより

中核地域生活支援センター（以下、中核センター）は、平成16年に策定された、千葉県地域福祉支援計画に基づく千葉県単独の福祉の総合相談事業です。子ども、障害者、高齢者を含めた全ての地域住民を対象とした地域生活支援の民間の拠点として位置づけられ、24時間・365日体制で地域生活支援・相談・権利擁護といった地域総合コーディネートの機能を担っています。千葉県の健康福祉圏域ごとに14か所のセンターを設置、社会福祉法人やNPO法人に委託運営しています。

当時の千葉県では「健康福祉千葉方式」として、立案の段階から生活の当事者である県民の意見を取り入れながら種々の政策がつけられていきました。全国で始めて制定された差別解消条例もそうしてつけられた政策の一つです。「理不尽な理由で辛く悲しい思いをしている人がいるのではないか」の課題意識を持って、「誰もが、ありのままにその人らしく、地域で暮らすことが出来る」地域社会の実現を理念にして様々な政策をつくっていきました。

さて、そうして始まった中核センター事業。今から13年前、包括センターも障害者相談事業所もなかった時代です。活動を始めると様々な相談が波のように押し寄せてきました。精神障害のある女性の夫婦間トラスルの仲裁、公園に寝泊まりするオジサンとのお付き合い、「近所にパチンコ屋が出来るんだけど…」と言ったご相談もいただきました。認知症のお婆さんの病院の付き添いは10年程続けました。行き場所のない若者が2週間ほど泊まっていったこともあります。債務整理や裁判、触法等の法律家と一緒にのお付き合いすることもたくさんあります。

いつでも、誰でも、どんなことでも。14カ所の中核センターで試行錯誤しながら始めた相談活動は簡単なことではありませんでした。ワガママのように聞こえる相談者の要望にどのように付き合うのか、関係者の意見の違いをどうするのか、要望に応えられない場合はどうするのか、私たちの相談活動のゴールはどこか？分からないことだらけでした。誰もやったことがなかったので、分からないことは14カ所の仲間と一緒に

考えるしかありませんでした。事例検討会を毎月行い事例集にまとめました。県内で一緒に事業を始めることが出来たのは私たちの大きなアドバンテージでした。皆で考え合い、高め合っていくことが出来たからです。

そして今、私たち中核センターが行っている活動の特徴と強みは以下のようなことにあると考えています。

①対象を限定しないので入口で断らないこと。

「この問題はうちでは取り扱うことが出来ません」といってお断りをするのは基本的にしません(より適当な相談窓口を紹介することはありますが)。離婚や相続のこと、家庭内の不和等、一見して福祉の相談でない問題から私たちが関わらせていただける事柄につながっていくことがあるからです。2015年4月から全国に設置された生活困窮者の相談窓口は対象者の範囲を幅広く設定していますが、生活保護受給者は相談の対象としておらず、相談の窓口が分断されています。

②権限を持っていないので関係性が勝負です。

中核センターは何かを決める権限を持っていません。プランや計画を作ることが求められている訳でもありません。相談者の方に「お宅では何をしてくれるのか?」と訊ねられて答えに窮することもあるのですが、相談者の方との関係性を活動の基盤にしています。

③アウトリーチ(訪問支援)を重視すること。

長生ひなたでは、毎月500~600件程度の相談活動を行っています。そのうち1/3程度は訪問によるものです。相談者の方が生活や活動される場所に伺ってお話を聞かせていただくことを大切にしています。

④具体的な生活支援を行うこと。

お話を伺うだけでなく、お困りごとについて直接的なお手伝いをします。役所の手続きや病院の受診に同行します。関係機関を紹介する際には出来るだけ同行して一緒にお話をさせていただくようにしています。相談者の方とお付き合いをさせていただきながら関係性をつくり、時間をかけてアセスメントを深めていく意味もあります。

⑤個別の課題を地域の課題につなげること。

一人ひとりの方が抱えている課題を地域の様々な方と共有することに努めています。個別ケースでの連携を行うと共に、障害者総合支援協議会、要保護児童対策協議会等々、地域の様々な会議に参加して課題の共有を図ります。地域で話し合うテーブルがないものについては共有できる場所を創ります。

厚生労働省は平成29年2月に「地域共生社会」の実現に向けての当面の改革工程を決定しており、その中で、市町村による包括的な相談支援体制を構築していくこととされています。目指すべき方向としての絵柄の意味は理解できませんが、万遍なく全国で具体化していくには欠けているピースがいくつもあるように思います。中核センターの実践をベースに、共生社会への道程を創っていきたいと思っています。



～地域連携を考えて～



十三東、東二東会長 青少年育成部会長
株式会社 Hearts 代表取締役

浜崎鍼灸整骨院 院長 ^{はま} ^{ざき} ^{ひろし}
浜崎 洋 さんより

初めまして、浜崎洋（はまざきひろし）と申します。ジョブサイトよどさん、ジェイ・ブランチよどさんと同じ十三東で鍼灸整骨院を営んでおります。また、この十三東の町会長の一人、十三地域活動協議会の青少年育成部会長として、日々十三の地域行事に携わっております。そういう日々の中で「地域の中での施設運営」「迎える地域の姿勢」「両者の関係」等の相談を受けたのが皆さんとの出会いでした。

「まず私達を知って欲しい。」という事でお会いして施設の見学に行かせて頂いて、いろんな事を知りました。利用者さんの生活、最低賃金を保障してもらうのも困難な場合がある仕事。スタッフさんの努力、地域社会との理解が進まない中での苦勞。施設が行政や地域の中での置かれている状況。それによる未来への不安。この町での私の立場で「知らない事は罪やな?」とさえ感じました。

こんな話があります。私達地域の行事の一つに「防災」「災害」訓練があります。最近では一つひとつの災害も甚大化し、ますます対策や訓練の重要性は増しています。地域でも年中の課題として取り組んでいます。その中で「災害時要支援者の名簿」作成があります。これはいざ災害が起きたとき独居の高齢者や障害を持った方など単独での避難が困難な方達の名簿です。「まず、地域での救助」の段階で速やかに動けるようにと考えられての名簿です。一度作成すればおしまいのお話ではなく、毎年調査して作成しています。この名簿に施設の利用者さんを掲載することはできませんでした。「住所地の人間に限る」という決まりだそうで

すが日中をここ十三で生活する利用者さんがこの町で被災する確率は低いとは決して言えないはずなのです。また我が地域も受け入れ態勢が整ってはならず、一緒に訓練を行ったことはありませんでした。

そこで地域の先輩方に相談、お願いをして地域社協にも働きかけ、災害時要支援者の名簿に取り掛かり、今年度の災害訓練には施設のスタッフの方々にも加わって頂く段取りを進めています。地域の役員としてやるべき事は本当に沢山で進むスピードはとてもゆっくりですが、それでも施設の利用者さんやスタッフの皆さんの安心材料のために「コツコツ」進めて行こうと思っております。

また個人的にも週一回ですが私の職場、鍼灸整骨院の掃除を「お仕事」として利用者さんにお願しております。これはスタッフの方からのご相談で頂いた「利用者さんの自立をどうやってサポートするか?」の第一歩としての試みです。掃除が全てではありませんが、利用者さんの得意な分野で頑張れるような仕組みづくり、それが自立の助けになれば…と始めました。私は大変満足しておりますし、このことを十三の町に告知、宣伝して「町中でサポートできる形ができれば」と強く思っております。

町の先輩方と話をすると「この人らには何も罪ないやん。」「この人らも含めてちゃんと見てあげることが俺らの仕事。」と言うてもらえます。私は全くその通りだと思います。

手さぐり山盛りですが頑張ります!

皆さん、何かの機会にお会いすることがありましたらお声かけください。いろんな話聞かせて下さい。



一般社団法人スポーツウェルネス連盟

代表理事 ^{かたな} 刀 ^や 谷 ^{まこと} 誠 さんより

1. 北摂杉の子会でのポールウォーキングを始める経緯と目的

2017年6月よりジョブサイトひむろの皆さんにポール（ポールウォーキングで使用する用具）を使用したポールウォーク&軽度な筋トレ（以下、スクール）をさせていただいております。

このスクールを担当させていただくようになったのは、知人を通じ、理事長松上様をご紹介いただいたことが始まりでした。

松上様より、「すぐにOT（作業療法士）小林と打ち合わせを行い、新しい運動として是非ともやってください」とお言葉をもらいました。

そこから、障がいのある方へポール使用の運動、軽度筋トレなどをご相談させていただき2017年6月よりジョブサイトひむろの皆さんに月2回のスクールを指導させていただいております。

正直なところ、小林様より具体的にスクールのご提案をいただいたときは即答できませんでした。はたして、障がいのある方に私どもがどこまで、指導ができるのか？と不安視していた部分があったからです。しかし、小林様と何度も話し合いをする中で「まずはやってみて、それから考えましょう」という言葉が後押しとなり、〈共に成長させてもらえるチャンス〉と捉え、実施のお話を受けると致しました。

(目的)

運動の楽しみを色々な方々に知ってもらい、健康増進を図るその手助けを行う。

この経験を活かしてもっと活動の範囲を拡大し、地域活性を進めていきたい。

利用者の方々が色々な運動を経験し筋力維持、向上を測る中で、私どもも共に成長する。

こういった点を意識して活動していく中で、全力で取り組んでいます。

2. 北摂杉の子会ポールウォーキングの活動について

当初戸惑いはありましたが、ジョブサイトひむろのスタッフの方にサポートいただき指導させてもらっています。

「ポールウォーキングスクール」として指導していますが、利用者さんには色々な運動を行い、健康増進を図りたいので、ポールを使用して歩くだけではなく、普段の二足歩行ではできない動きを取り入れながら約60分のスクールを行なっています。

3. ポールウォーキングと可能性

ポールウォーキングはリハビリを目的に作られています。類似したノルディックウォーキング（※当初、スキーのトレーニング目的をして行われた）もありますが、使用用途、対象者が異なります。

ポールウォーキングは二足歩行から、ポールを入れて四足歩行（四点支持）になるので歩行のサポートとなります。そうすることで、立位時の基底面積が大きくなり、それが安定へと繋がるのが最大のポイントとなります。普段あまり運動習慣が無い人、座り仕事が多い人には日常の歩行にポールをプラスしていただくだけで運動となります。これから運動を始めようという人には最適だと考えています。

スポーツ、運動などで1番大事なのが「継続してもらう」ことです。

その面でも、簡単に楽に全身運動ができますので、運動のきっかけになればと、アクティブなシニアはもちろんですが、継続した運動が苦手な方、シェイプアップをしたい方向けにも発信していこうと考え

居酒屋「たんぽぽ」さんのつくね製造受託の 取組みから地域へ



■はじめに

ジョブサイトよどは生活介護事業所で、施設内に厨房があり、コロッケを製造し、事業所近くの店舗でコロッケを販売しています。日々ご利用者それぞれの強みを活かせるようにコロッケの製造に携わっていただいています。

よどのコロッケには

- ①コロッケ店舗の売り上げのアップ、卸先や、イベント等の外販での売り上げ確保によるコロッケ事業の収入安定化。
 - ②厨房や店舗があるにも関わらず、地域とさらに繋がり、地域貢献が不十分。
- という2つの課題がありました。

この2点を解決する取組として、コロッケ事業に携わっていただいているご利用者の調理スキルが高いといった強みを活かし、十三駅の近くの居酒屋「たんぽぽ」さんのつくね製造の仕事を始めました。

つくねの仕事をいただけたのは「たんぽぽ」さんに清掃の仕事をお願いしたことがきっかけです。それがきっかけとなって、ジョブサイトよどのコロッケ事業のことを知っていただき、つくねの取組みがスタートしました。

■ご利用者のスキルアップ

つくね製造の工程は、野菜を切る→調味料を計る→みんちを混ぜる→みんちを計る→みんちを成型する→茹でる→居酒屋にお届けです。混ぜる、茹でる以外の作業をご利用者が取り組んでいます。

ジョブサイトよど

支援員・社会福祉士 ^{だん}段 ^{あや}綾 ^か佳

①視覚的な提示

作業の中で、困りごとがあっても自発的に伝えることが難しいご利用者がいらっしゃいます。調味料の計量の際にも、調味料が無くなったことを伝えるのが難しく、作業当日になって「調味料が足りない」というハプニングがありました。そこで「ありません」の報告ができないかと考え、調味料を袋からタッパーに変更し、その底に「〇〇がなくなりました。ください」と書いたメモを貼りました。そのメモが見えると、自発的に無くなったことを伝えてくれています。



左：玉ねぎを切っている様子 右：調味料を計っている様子

②おわりの明確化

たくさん玉ねぎを用意されると見通しが持てず急いで切り、完成度が正確でなくなることがありました。そこで製氷皿を使用し、ひとマスに5本ずつ数え、5本ずつ切るとおわりといったようにおわりを明確にすることで、より多くの玉ねぎを切ることができるようになり、作業の精度アップにつながっています。

コロッケ製造を通して、調理におけるご利用者のそれぞれの強みを活かしたスキルアップを行うことで、現在では厨房に入っておられるみなさんが、つくね

製造のどれかの工程に携わって下さっています。

ご利用者1人ひとりに合わせた視覚提示やスケジュール、ワークシステムを活用し、働き方を支援しています。

■ つくね配達における厨房外のご利用者の仕事の提供

元々は1人のご利用者が行っていた、製造したつくねの「たんぼぼ」さんへの配達ですが、厨房外のご利用者にも携わって頂けたらということになりました。そこで、他のフロアに声をかけ、配達を当番制にしました。つくね配達に携わってくださっている7名のうち4名が厨房に入っておられないご利用者です。配達では“配達のセリフカード”を使用し、ご利用者が主体的に取り組んでくださっています。「たんぼぼ」の店長さんとコミュニケーションをとることや、自分が作ったつくねを外部の方にはめて頂けることで、配達や製造に取り組むモチベーションアップに繋がっている方もいらっしゃる、業者対応のスキルアップにも繋がっています。



つくね配達の様子

このように、つくね製造を始めてから、ご利用者のモチベーションも高く、厨房に入っておられる方で、熱が出たのにも関わらず、つくねの製造をするために出勤されるというエピソードがありました。つくね製造を行うことで工賃があがり、仕事に対する意識ややりがいが高まったと感じています。

■ 「たんぼぼ」さんとの繋がり

「たんぼぼ」さんから“心に残るありがとうカード”というものを頂きました。その中には「いつもきれいでおいしいつくねをありがとうございます。お客様か

らの評判も高いです。これからもよろしくお願いたします」と書かれていて、とても嬉しかったです。また、「たんぼぼ」さんからつくね製造の受託を行っていることの取材の依頼も頂き、「たんぼぼ」の職員さんに贈られる手帳に社会貢献の取り組みとして、ジョブサイトよどでのつくねの製造を掲載して頂きました。そのことは、よりたくさんの方に自閉症の方の事を知って頂くことに繋がっています。



手帳



取材の様子

■ 最後に

つくねの製造、配達は当法人の「地域に生きる」という理念に基づいた地域を拠点とする事業であり、またご利用者のコロッケ事業で身に付けたスキルを活かした事業でもあります。そして、この事業は、厨房のパート職員が中心となって始めた事業であり、現在もつくねの増産にも積極的に取り組むなど、職員一丸となって行っている事業です。

ジョブサイトよどではこれからも、障がいが重い軽いかかわらず、生活介護事業のご利用者の方々1人ひとりにあった働き方をしっかりと提供していき、いきいき、バリバリと働き、その働きを地域へと結びつけることを大切にしていきたいと思っております。

北海道はるにれの里視察および コラボレーションセミナーの報告



児童デイサービスセンター an

児童発達支援 管理責任者 ^{いち}市 ^{はら}原 ^{くる}来 ^み美

9月30日と10月1日の2日間、北海道にある社会福祉法人はるにれの里様の施設見学とはるにれの里様と横浜・やまびこの里様と、そして北摂杉の子会とのコラボレーションセミナーに参加させていただきました。

グループホームなどの成人施設、児童発達支援センターを見学させていただいた中で、お一人おひとりに合ったさまざまな工夫が施設内にたくさんあり、日々の業務に活かせる支援のアイデアを学ばせていただきました。また同時に、普段行っている支援や活動内容、環境調整の見直しを考えるきっかけも与えてくださいました。施設見学を通して感じたのは、全体的に空間がすっきりしていてシンプルであるということです。ご利用者にとって不要な刺激が少なく、必要な情報に注目しやすい環境が整備されていることがわかりました。

今回のセミナー「とことん自閉症支援」では、各法人施設の支援の実践報告を行いました。「地域で暮らす」「行動障がいと向き合う」「さまざまな自閉症支援の形」の三部構成になっており、最後に各法人理事長・事業部長による「これからの自閉症支援」のパネルディスカッションという流れです。私はその中で、「余暇のレポーターが少ない児童への支援」について発表させていただきました。成人施設の実態や強度行動障がいの方の話聞く中で、改めて幼児期・児童期の支援や周囲の理解がいかに重要な役割を担っているかを実感しました。小さいお子さんであれば、どうしても社会性やコミュニケーションスキル、学校に入れば学習面などに目を向けられがちですが、自立した豊かな生活を将来的に送るためには、それと同時に行動管理

(物事の「おわり」を自分で理解したり、見通しをもって安心して活動したりすることなど)や余暇スキルを身につけておくことも重要なのではないかと思います。好きなものや得意なことから興味を広げ、一人で過ごす力や余暇時間を適切に過ごす、リラクゼーションの習慣を身につけておくことは、大人になったとき、生きていくうえでの武器になると思います。

今回のセミナーに参加して、目指す方向と向かう場所が同じ他の法人職員の方々とさまざまな意見交換ができたことは、とても貴重な体験となりました。今回学んだことを、他の職員と共有し支援の質の磨き上げに従事して参りたいと思います。最後に、お忙しい中、施設見学やセミナーの準備をいただいた、はるにれの里の職員の皆様、本当にありがとうございました。



はるにれの里さんの施設見学

北摂杉の子会 法人設立20周年記念セミナー 第4回 北摂杉の子会研修セミナー 報告

平成29年10月7日に高槻市生涯学習センター多目的ホールにて、北摂杉の子会 法人設立20周年記念セミナー/第4回 北摂杉の子会研修セミナーを開催いたしました。今回のテーマは「自閉症スペクトラムの人たちとのコミュニケーション～年齢・発達・状態に合わせた伝え方や表出の工夫～」です。

講師として、アメリカ/ノースカロライナ州にあるマードックセンターで勤務されているエリザベス・レイノルズ・オトゥール (Elizabeth Reynolds O'Toole) 氏をお招きしました。(詳細は以下の略歴参照) マードックセンターは、知的障がい(重軽度)や発達障がいのある方の入所やショートステイ、レスパイト施設です。

午前中は、当法人の3事業所(萩の杜・ジョブサイトよど・おれいすBe)から、支援が困難なケースについてのカンファレンス(会議)にアドバイザーとして参加をお願いし、有益な助言を多数ちょうだいしました。



ケースカンファレンス

午後からは上記のテーマで講演がスタートしました。ご参加いただいたのは、近畿圏からはもちろんのこと、全国各地の事業所・教育機関・保護者の方々です。講演では、実際に使用されているボードの画像やコミュニケーション場面の動画を日本語で作成していただくなど、とても分かりやすい内容でした。

当法人は意思決定支援を今後の大きな課題として考えており、表出コミュニケーションスキルをどのように活用するかが重要となっています。そういう意味でも、今回の講演は、当法人にとっても本当に有益なものでありました。

はるばる日本にお越しいただいたエリザベスさんと北海道から通訳としてお越しいただいた、社会福祉法人はるにれの里 就労支援事業所あるばの吉岡俊史所長に厚くお礼申し上げます。



吉岡さん(左)とエリザベスさん(右)

また、大阪府第10区(高槻市・島本町)選出の衆議院議員、辻元 清美 議員・大隈 和英 議員・松浪 健太 議員よりお祝いのメッセージを頂戴しました。選挙準備でお忙しい中、本当にありがとうございます。

最後になりましたが、ご参加いただいた多くの方々にも、お礼申し上げます。

来年度以降もこの研修セミナーを継続して開催したいと考えております。どうぞよろしくお願ひいたします。

略歴 Mrs Elizabeth Reynolds O'Toole (エリザベス・レイノルズ・オトゥール氏)

1998年よりノースカロライナ州自閉症協会に関わっていたことから、ノースカロライナ大学チャペルヒル校TEACCH自閉症プログラムに参加。約10年間のTEACCH部勤務の間に、プレス쿨の教諭チーフとして、17か月~6歳の自閉症児への早期介入(early intervention)カリキュラムで指導にあたった。また、ソーシャルグループのクラスの支援コーディネーター、コンサルタント、TEACCHトレーナーの仕事も行った。

TEACCH部自閉症プログラム退任後、ノースカロライナ大学チャペルヒル校にて、言語病理士のマスターを取得し、自閉症者の「コミュニケーション」「食べる」の分野での専門家として活動。

現在、ノースカロライナ州マードックセンター(Murdoch center)にて勤務し、知的障がい(重軽度)や発達障がいの方の支援、療育プログラムであるPATH Program (Partners in Autism Treatment and Habilitation)を担当している。TEACCHに関する文献"let's get started" "the preschool curriculum guide" "Let's Play" (Tasks Galore)を執筆。

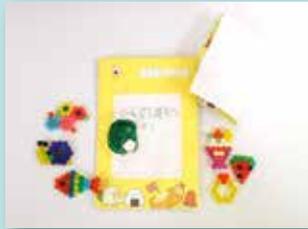


杉の子 いいね!

☆レッツ☆
クリエイティブ
アート!

当法人のご利用者には、様々な特技をお持ちの方や表現活動（絵画・詞・陶芸等）を行っている方がたくさんおられます。このコーナーでは、そういった活動を紹介しています。たくさんの読者に「いいね!」「共感した!」という想いを届けたいと考えています。

こども発達支援センター az



●作品の紹介

4月よりazのご利用を開始され、徐々に慣れてきた夏休み。
スタッフに暑中見舞いのお手紙とビーズの作品を届けてくださいました。
便箋は「すみっこぐらし」。最近、いちばんお気に入りのキャラクターだそうです。

●スタッフのコメント

ぬり絵や工作など、創作活動を好まれるYKさんです。
毎回、活動プログラムの中に作品づくりの時間を設定しており、1学期はひとりでぬり絵に取り組むことができました。夏休みの終わりには「もっと工作をしたい!」とご本人からのリクエストをちょうだいしました。

サポートセンターPASSO



●作品の紹介

PASSOの休憩時間に、いつもかわいらしい女の子の絵を描いて過ごされています。
全体の構図を考え、1人1人の体の向きを考え、かき分けておられます。

●スタッフのコメント

今回ご紹介させていただいた絵は、PASSOのリラックス休憩中に取り組まれたものです。
毎回、たくさんの女の子が描かれており、ひとりひとりの洋服や髪型も全て違い、いろいろな色で表現されています。

ジョブジョイントおおさか



●スタッフのコメント

この4枚のイラストはPCを使ってつくられました。
Yさんは絵をかくのが得意で白い紙さえあればいろんな道具を使い、いろんな作品を生み出されます。
みんなが知っているスポーツ選手などの人物の特徴をうまくとらえながら可愛いイラストを描かれました。
某有名野球球団の公式グッズにもなるほどその実力は認められていて、その可愛さに私も思わずグッズを購入してしまいました!スタッフの間でもYさんのイラストのファンは多く、今後の作品も楽しみです!!



北摂杉の子会のホームページ 更新情報

(平成29年6～8月)

北摂杉の子会のホームページ (<http://www.suginokokai.com>) では、様々な法人の活動や情報提供をリアルタイムで掲載しております。過去3ヶ月のホームページ更新状況をお知らせいたします。ホームページでは、機関誌のバックナンバーもご覧いただけます。ご興味のある方は『北摂杉の子会』で検索して、ぜひアクセスしてご覧ください！

掲載ページ	内 容
各施設のご案内	北摂杉の子会設立20年記念事業 サポートセンターPASSO 平成29年度療育施設見学会のご案内
	PASSO新聞 7月号
	すぎの子はつつ通信 6月号
お知らせ	平成29年度 淀川区おやこであそぼう!のご案内
	月刊「都市問題」7月号に、理事長 松上利男が 「障害者虐待を考える——福祉施設における“ガバナンス”の視点を通して」を執筆
	北摂杉の子会設立20周年記念講演会／第4回 北摂杉の子会研修セミナー 開催
	月刊「さぼーと」5月号に、当法人職員インタビュー 「集え、若職人! ～若手職員本音トーク～」が掲載
よどのコロツケ	よどのコロツケかわら版更新
	イベント販売&お知らせ
Café Be	ランチメニュー更新
	Café Be ミュージック・デイ情報更新



掲示板コーナー

(平成29年6月から平成29年8月まで)

法人本部総務部 掲示板

6月	行 事
3・10日	法人採用説明会
5・19日	経営会議
7・12・15日	採用応募者施設見学会
9日	権利擁護虐待防止委員会
9・23日	運営会議
11日	第64回評議員会 第1号議案 平成29年度事業計画の件 第2号議案 平成29年度予算の件 第3号議案 平成28年度事業報告承認の件 第4号議案 平成28年度決算承認 第5号議案 役員等の報酬に関する規程改正の件 第6号議案 理事、監事選任の件
	第109回理事会 第1号議案 理事長・副理事長選任の件
	20日 関西学院大学安田ゼミ フィールドワーク受け入れ
	27日 新入職員研修
	28日 総務管理会議 龍谷大学山田ゼミ 採用説明会
	29日 京都ノートルダム女子大学 学内採用説明会
30日 強度行動障害支援スーパーバイザー養成研修	

7月	行 事
7日	京都女子大学 学内採用説明会
10・31日	経営会議
12日	関西福祉科学大学津田ゼミ 採用説明会
13日	京都精華大学 学内説明会 第110回理事会 第1号議案 理事報酬承認の件 第2号議案 苦情解決第三者委員選任の件
	14・28日 運営会議
15日	福祉の就職総合フェア2017 in OSAKA
20日	京都ノートルダム女子大学 学内採用説明会
21日	医療連携推進室会議
26日	総務管理会議
28日	強度行動障害支援スーパーバイザー養成研修
29日	法人採用説明会

8月	行 事
1・4・10日	採用応募者施設見学会
7・21日	経営会議
18日	医療連携推進室会議
23日	新入職員研修 総務管理会議
	25日 運営会議

(河辺 記)



関西学院大学安田ゼミ フィールドワーク受け入れ



福祉の就職総合フェア2017 in OSAKA

萩の杜 掲示板

萩の杜日帰り旅行

萩の杜ご利用者が日帰り旅行に参加されました。
今年度は、「岡山城・後楽園」「神戸海洋博物館」「牛滝温泉よやかの郷」「大阪歴史博物館・大阪周遊」に行きました。その様子を紹介したいと思います。（紙面の都合上、一部のみの紹介です）



牛滝温泉よやかの郷



旅のしおり



大阪歴史博物館 / 大阪周遊



岡山城・後楽園



神戸海洋博物館

AEDの講習会

萩の杜では支援員向けにAEDの講習会を実施しました。
実際のAEDの機器を使い、看護師の指導のもと実施しました。
なるべく実践的になるように場面設定してロールプレイしています。
（倒れている支援員がいますが、迫真の演技です。）
事故がないことが一番ですが、万が一の場合にも、ご利用者の命を守るように備えていきたいと思ひます。

大丈夫ですか？
AEDをお願いします！



「AEDとは」

心臓がけいれんを起こして血液を送り出すポンプとしての役割が果たせなくなる心室細動を起こしている状態のときに、心臓に電気ショックを与えて正常な状態に戻す器械。
自動体外式除細動器のこと。



（山根 記）

ジョブサイトひむろ掲示板

ひむろ祭りを開催しました

お祭り当日に向けて、絞り染めを作成しました。
個性豊かな染めあがりの作品ができ、気分を盛り上げていくことができました！



7月17日(祝)
@ジョブサイトひむろ



陶芸の器、雑貨を販売しました



6月3日 二十四節記
雑貨マーケットに出店



野菜やフルーツ、動物の絵の
入った器を販売しています



7月22日
サニスポ夏祭りに出店

6月



7日 エキスポシティ



14日 不二家

7月



14日 オービー



26日 ドルチェモスカート



27日 不二家

レクリエーション



21日 長岡天満宮



23日
スイーツパラダイス

8月



11日 ボーリング



(中原 記)

大阪府発達障がい者支援センター アクトおおさか

6月	行	事
2～3日	平成29年度 発達障害者支援センター全国連絡協議会	福岡大会
16日	平成29年度 第1回大阪府発達障害団体ネットワーク会議	
19日	ペアレント・メンター派遣 大阪府立砂川厚生福祉センター強度行動障がい支援リーダー養成研修 公開講座	
20日	地域支援マネージャー事業	岸和田市 訪問
21日	地域支援マネージャー事業	太子町 訪問
23日	地域支援マネージャー事業	門真市 訪問
28日	地域支援マネージャー事業	高槻市 訪問
29日	大阪府との事業打ち合わせ	

7月	行	事
4日	平成29年度 ペアレント・メンター養成研修	ベーシック研修(1日目)
	平成29年度 ペアレント・メンター事業 公開講座	講師：大阪大学キャンパスライフ健康支援センター 准教授 望月 直人 氏 鳴門教育大学大学院教育研究科 准教授 小倉 正義 氏
11日	平成29年度 ペアレント・メンター養成研修	ベーシック研修(2日目)
13日	地域支援マネージャー事業	摂津市 訪問
14日	平成29年度 第1回大阪府発達障がい者支援センター連絡協議会	
20日	平成29年度 第1回大阪府ペアレント・メンター事業運営委員会	
26日	ペアレント・メンター派遣	豊中市こども未来部と事前打ち合わせ
	地域支援マネージャー事業	太子町 訪問
27日	ペアレント・メンター派遣	事前打ち合わせ
31日	平成29年度 アクトおおさか 支援者対象公開講座 「自閉スペクトラム症の理解と対応」	講師：医療法人サヂカム会 三国丘病院 院長 河口 剛 氏

8月	行	事
1日	ペアレント・メンター派遣	事前打ち合わせ(大阪府立砂川厚生福祉センター)
2～4日	平成29年度 発達障害者地域支援マネージャー研修会(基礎研修)	(国立障害者リハビリテーションセンター)
3日	平成29年度 第1回大阪府発達障がい児者支援体制整備検討部会	こどもワーキング
4日	平成29年度 第1回大阪府発達障がい児者支援体制整備検討部会	成人ワーキング
	地域支援マネージャー事業	羽曳野市 訪問
8日	地域支援マネージャー事業	泉佐野市 訪問
	平成29年度 第1回発達障害者雇用支援連絡協議会(大阪障害者職業センター)	
10日	地域支援マネージャー事業	豊中市 訪問
24日	地域支援マネージャー事業	岸和田市 基礎講座 (岸和田市立福祉総合センター)
25日	地域支援マネージャー事業	門真市 基礎講座(門真市保健福祉センター)

(内田 記)

アクトおおさか支援者対象公開講座



児童発達支援部

個別療育



スケジュールを自分で確認しています。



おやつ時間、自発的に要求を伝えています。



PASSOくらぶ



「科学発見クラブ」つかめる水作り実験中!



「料理・制作くらぶ」おにぎらず作りに挑戦



保護者研修



「自閉症の特性理解」の研修で疑似体験をしました。

大阪府気づき支援人材育成事業



幼稚園教諭、保育士の方を対象に研修を実施しました。

部内職員研修



「自立課題」について、部内の職員研修をしました。

(西ヶ峯・水口 記)

ジョブサイトよど/ジェイ・ブランチよど掲示板

★余暇プログラム★



サッカークラブにも参加しています★



アミティ舞洲にて!



ゲストでほっこり♪

十三にはお店がたくさんあるので、ご利用者の皆さんとの外食は色んなお店に行くことができ、とても充実しています♪



★慰労会★

家族会より慰労金をいただき各フロアで慰労会をひらきました♪



よどのコロッケ店舗
8周年を迎えました!!



地域の盆踊り♪

十三地域の盆踊りでコロッケを販売しました!
(十三小学校)



コロッケ弁当
試食会



職員で試食会を行い最終決定したお弁当を8/25(金)大阪府庁で初めて販売しました!
見事完売でした★★



(田端 記)

ぷれいすBe 掲示板

今回も土曜日を中心に様々な余暇・外出プログラムを実施しましたのでご紹介させていただきます

公園散策



花火



夏祭り



ボウリング



レストラン



カラオケ



映画鑑賞



スイーツ作り



スイーツ完成



ピザパーティー



(下 記)

ジョブジョイント(JJ)おおさか -たかつきランチ- 掲示板

6月	行 事
9日	おもしろ専門講座(経理の仕事について)
13日	事業所見学会(高槻)
17日	AM:土曜開所日 PM:ジョイふるJJ(就職者向けサービス)、就活のススメ(大学生事業)
20日	大人の社会見学(下水道科学館)
27日	事業所見学会(十三)
28日	会社見学会

7月	行 事
1日	AM:土曜開所日 PM:ジョイふるJJ(就職者向けサービス)、就活のススメ(大学生事業)
11日	事業所見学会(高槻)
19日	スタッフ研修(行動指針の作成に向けて)
22日	AM:土曜開所日、就活のススメ(大学生事業) PM:家族ミーティング(ご家族向けサービス)
25日	事業所見学会(十三)

8月	行 事
5日	AM:土曜開所日 PM:ジョイふるJJ(就職者向けサービス)、就活のススメ(大学生事業)
8日	事業所見学会(高槻)
9日	大掃除(高槻)
10日	大掃除(十三)
11日~ 16日	夏期休暇
17日~	インターンシッププログラム開始(大学生事業)
19日	AM:土曜開所
28日	大人の社会見学(明治の工場見学)
29日	会社見学会

(山田 記)

リラックスルームの装飾

リラックスルームを夏らしく、ご利用者さんにアレンジしていただきました。
どんな風に飾り付けるか、アイデアを出しながら取り組んでくださいました!



会社見学会(株式会社ダイキンサンライズ摂津様)

働くイメージを具体的にしたり、働く上で大切なことを学ぶため、企業様に
ご協力いただき、定期的に会社見学会を実施しています。



生産活動支援部 掲示板

「サッカー」



7月の法人内の練習に参加しました。
初めての方もおられましたが、
みんな伸び伸びプレーされていました。



「レクリエーション」



小グループでのレクリエーション。
みんなの希望のお店に行き、大好きなカラオケで盛り上がりました。

「ポスティング」



毎週二回、ポスティングの仕事に行きます。
今年は大変暑かったのですが、水分補給しながら、間違いないよう丁寧にポスティングしました。

「秋の催事販売」



今年も、10月14・15日に高槻市で開催される「食の文化祭」に、よどのコロッケと一緒に出店しました。



(久保 記)

萩の杜家族会 掲示板

6月	行	事
8日	倉庫整理	
11日	イオンのイエローシートキャンペーンに参加	
19日	安全対策委員会	
22日	サークル萩（手作り品の作成と情報交換会）	
25日	カトリック高槻教会にて花販売	
26日	家族会会長会議（本田会長出席）	

7月	行	事
11日	イオンのイエローシートキャンペーンに参加	
21日	家族会定例会（現代劇場205号室）	<ul style="list-style-type: none"> ・施設からの報告 ・安全対策委員会からの報告 ・各部会報告 ・次年度以降の家族会会費の検討
23日	カトリック高槻教会にて花販売	

8月	行	事
11日	イオンのイエローシートキャンペーンに参加	
21日	安全対策委員会	

（植松 記）



昨年開催のグループ別懇親会の風景

ジョブサイトひむろ家族会 掲示板

6月	行	事
7日	第1回役員会（本部会議室）	
21日	第2回グループホーム入居希望者の会（今城塚公民館） 参加者：ひむろ家族会 8名 ぶれいすBe家族会 12名	
26日	家族会会長会（本部会議室） 東会長出席	

7月	行	事
4日	第1回定例会（高槻現代劇場 206号室） 出席者 35名 欠席者 16名 来賓 植松副理事長 平野理事 森田施設長 *家族会報告 東会長より *法人現状報告 植松副理事長より *地域生活支援部報告 平野理事より *ひむろ活動報告 森田施設長より *その他	

8月	行	事
8日	第2回役員会（本部会議室）	

（垣端 記）

ジョブサイトよど&ジェイ・ブランチよど家族会 掲示板

6月	行	事
6日	ララショコラ・TAKATUKI見学と法人本部訪問 （参加役員 永井・加地・玉木・松前）	
17日	「よどおやじの会」発足集会（こがんと十三東店） 出席者 松上理事長、田端施設長 ジョブサイトよど家族会 8名 ジェイ・ブランチよど家族会 3名	
24日	ジョブサイトよど家族会、ジェイ・ブランチよど家族会 合同役員会（アーリーアーク501号室）	
26日	家族会会長会（法人本部402号室 出席：玉木）	

7月	行	事
4日	ジョブサイトよど家族会、ジェイ・ブランチよど家族会 合同定例会（淀川区民センター） ・「成年後見制度について」 講師 司法書士 田中智子 氏 出席者 田端施設長 ジョブサイトよど家族会（出席者：12名） ジェイ・ブランチよど家族会（出席者：5名）	
22日	ジョブサイトよど家族会、ジェイ・ブランチよど家族会 合同役員会（アーリーアーク501号室）	

8月	行	事
19日	ジョブサイトよど家族会、ジェイ・ブランチよど家族会 合同役員会（ジョブサイトよど2階）	
29日	北摂杉の子会後援会臨時役員会（高槻現代劇場403号室）（出席：永井、玉木）	

（永井 記）

ふれいすBe家族会 掲示板

6月	行	事
8日	役員会（ふれいすBe会議室）（出席者：施設長を含め9名） 審議報告事項	・グループホーム見学会 案内文書の確定と配布 ・掲示板原稿の確認
19日	参観&ランチ（第一回）。参加者9名（6家族）、担当役員（斎藤・澤村）	子供たちの現在の状態を直接見ることができる貴重な機会。参加したメンバーのお子様の作業の様子を確実に見るように、参観の順路を工夫してほしい。後援会のご援助により改装され、再び使用可能になったスヌーズレンの部屋を実際に見て、ああこういう施設だったのかと改め認識することができた。
26日	家族会会長会（出席者：厚東）	
21日	第二回グループホーム入居希望者の会（今城塚公民館）10：30～12：30	平野部長より新規グループホームの整備計画について、詳細な説明をしていただく。萩の杜の従たる作業所に隣接し、二階建て二棟、定員14名。今秋に国庫助成金の申請を行い、再来年の春からの開業を目指して、今年中に整地作業を完了し、来年度には建築作業に入る。入居者は男性、これから半年ぐらいかけて施設長を中心に入居希望家族と面談し、14名の入居予定者リストを作成したい。
7月	行	事
6日	グループホームぼん・ぼこ見学会（担当役員、岡田）参加者30名 10：45～12：00	運営主体の花の会の職員三名から設立の経緯に始まり（既存の府営住宅借り上げ形式グループホームからの移転入者が多い）資金面に至る詳細なご説明をしていただく。そのあと施設を実際に見学。参加者のうち18名は、宮田公民館に移動してランチをご一緒する。事前に予約注文し、当日会場に届けられた弁当をいただく。 感想：自己資金（利用者家族の負担額）の少なさに一同ショックを受ける。反面借入金が多額となり、その返済を考えるとグループホームの運営は大丈夫なのでしょうか!?周りの住民への対応の仕方など、現在進行中のふれいすBe関連のプロジェクトを考えると、参考になる点が多々あった。
13日	役員会（ふれいすBe会議室）（出席者：施設長を含めて10名） 審議報告事項	・行事の報告（第一回参観&ランチ、グループホーム見学会） ・「Beどうし」の原稿の確認
19日	参観&ランチ（第二回）。参加者：9名（8家族）担当役員（岡田、笹尾）	利用者の姉妹も加わり、この行事も定着してきました。興味深い参観を終わり、ランチで一息ついた途端、話しは「お悩み相談」で持ちきりとなり、長時間あれこれと「解決策」に知恵を絞りあいました。
8月	行	事
17日	役員会（ふれいすBe役員会）（出席者：施設長を含め7名） 審議報告事項	・行事（第二回参観&ランチ）報告 ・定例会の審議内容
29日	北摂杉の子会后援会臨時役員会（出席者：和田、厚東）	

（厚東 記）

自閉症スペクトラム児・者を支援する親の会 オアシス 掲示板

6月	行	事
3日		おやじの会 (大阪自閉スペクトラム症協会との共催)
12日		オアシス役員会
14日		ホットメールなにわ (クレオ大阪) (副会長参加)
16日		大阪府発達障害ネットワーク会 (ラポール枚方) (会長、副会長参加)
26日		<p>平成29年度オアシス総会 場所 大阪市立青少年センターココプラザ講義室3階 第1会議室 ◇会員総数100名、出席者12名、委任状47名、合計59名、会則20条により5分の2以上の出席をもって成立 ◇平成28年度事業報告、平成28年度収支報告・監査報告、平成29年度役員・監事・顧問選任、平成29年度事業計画案、平成29年度収支予算案、すべての議案について議場に諮り満場異議なく承認された ◇来賓・顧問の紹介 顧問 北摂杉の子会 理事長 松上利男氏 来賓 北摂杉の子会 統括理事 総務部長 佐々木寛昭氏 顧問 武庫川女子大学 文学部 心理・社会福祉学科 教授 新澤伸子氏 顧問 北摂杉の子会 理事 児童発達支援部部长 谷岡とし子氏 ◇講演会 総会后、松上理事長より「今年度の方針施策について」として、行政の動き、法人の活動方針・施策などについてご講演いただいた</p>



7月	行	事
3日		オアシス役員会
4日		ペアレントメンター養成研修+公開講座 役員参加
17日		<p>就労体験「いるか通信」発送のお手伝いと軽作業 場所 西区民センター2階 第3会議室 参加者 8名 ボランティア協力 関西福祉科学大学 2名 大阪人間科学大学 2名 武庫川女子大学 2名</p>



8月	行	事
7日		(台風による暴風警報で中止)オアシス役員会
20日		<p>調理実習 場所 クレオ大阪中央 参加者 5名、食事数21名 (保護者、役員、ボランティア含む) ボランティア協力 武庫川女子大学 2名 関西福祉科学大学 2名 大阪樟蔭女子大学 1名 大阪人間科学大学 1名</p>



(坂地 記)

北摂杉の子会 後援会 掲示板

本会の活動に対して多くの方々や企業、団体、また萩の杜、ジョブサイトひむろ、ジョブサイトよど、ジェイ・プランチよど、ぷれいすBeの家族会の皆様のご支援を頂き、まことにありがとうございます。今後ともより一層のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

<近況報告>

6月 個人会員：416名、団体会員：24団体
合計：440名／団体 寄付：3件

7月 個人会員：416名、団体会員：24団体
合計：440名／団体 寄付：3件

8月 個人会員：418名、団体会員：24団体
合計：442名／団体 寄付：1件

(2017年8月末までの新規会員)

個人会員：27名、団体会員：なし

<報告事項>

1) 今年度の2017年8月末までに10件、158,000円の寄付、612,000円の会費、合わせて770,000円の資金を頂きました。ご協力ありがとうございます

2) 2017年8月29日(火)に臨時役員会を開催

• 2017年4月～2017年7月までの経過報告

個人会員：416名、団体会員：24名、寄付：9件、資金：692,187円(会費納入率は個人：41%、団体：29%)

• 法人20周年、アクトおおさか15周年記念事業についての説明(法人総務から)

i. 法人20周年記念事業

記念講演会(基調講演及びシンポジウム：H30. 2. 6)
記念誌の刊行

作品展(高槻アート博覧会に出品予定：H29. 11)
各事業所取り組み

ii. アクトおおさか15周年記念事業

記念セミナー及び懇親会(H29. 10. 3)

エリザベス氏セミナー(ノースカロライナ州マードックセンター：H29. 10. 7)

• 次回臨時役員会の開催予定

2017年11月13日(水) 14:00～15:00

場所：高槻現代劇場

(棚山 記)

寄付と後援会入会のお願い

社会福祉法人「北摂杉の子会」後援会の趣旨に賛同され、ご支援して下さる方々の寄付及び後援会への入会をお願い申し上げます。寄付金と後援会費は法人を支援するための資金とさせていただきます。お振込みは右記口座まで。もしくは同封の振込用紙をご利用ください。皆様のご支援とご協力をよろしくお願い致します。

既に今年度、後援会会費をいただいた方には重ねてのご案内になりますことを、どうかご容赦ください。

記

- | | | |
|-----------|------|---------|
| 1. 寄付金(注) | | |
| 2. 個人会員 | 年間一口 | 2,000円 |
| 3. 団体会員 | 年間一口 | 10,000円 |

郵便振込口座 北摂杉の子会
00920-8-90859

(注) 任意団体である後援会の領収書では確定申告の際に寄付金控除を受けることは出来ませんので、寄付金控除の出来る領収書をご希望の方は法人の下記口座にお振込み願います。

銀行名：三菱東京UFJ銀行 支店名 高槻支店 口座名：社会福祉法人北摂杉の子会
口座番号：5085555

～ 皆様の温かいご支援に感謝いたします ～

□ 法人へのご寄附に感謝いたします。(平成29年6月1日～8月31日)

河端良一 真野利之 スマイル体操研究会 棚山薫晴 梁 恵子 植松芳哲 中村節史 近藤順子

□ 後援会入会と会費納入(平成29年5月24日～8月31日)

濱田里美 細原玲子 澤田文子 橋爪節子 富宅由美子 調 佳枝 大谷千由子 小林夏子 井上惇子 塩野高志
松原茂樹 新谷 敦 山内千鶴子 藤岡 宏 池下貞子 久常進治 井上誠子 垣本寿也子 中村淑子 今村一二三
今村暢也 今村聡之 久常和子 今村圭子 今村誠吾 今村美佐代 今村洋子 藤岡紀子 北村久美子 志賀亞之
丸山繁一 田寺雅幸 溝江キチヨ 田口和人 田口容子 田口敦夫 田寺文子 甲木 翠 柏原紀男 本田成美
本田千秋 八里さだ 伊藤雅子 金子 学 丹藤優香 丹藤舞香 森田豊子 森田俊博 森田靖紀 森田和成
角谷慶子 副島雄彦 福田浩三 福田啓子 福田浩隆 菅沼朋子 中島江美子 大来恵子 倉本ことみ 徳本晴美
倉本 周 佐々木公一 白倉俊雄 平田登代子 福原龍彦 福田節子 池田美保子 小林伸次 小林真理子
角谷慶子 有限会社 北摂初田 寺田軌道株式会社 代表取締役 寺田秀喜 株式会社 伊丹産業 高槻営業所

□ 後援会への寄付(平成29年6月1日～8月31日)

志賀亞之 鈴木孝雄 林 秀郎 匿名希望2人

□ 物品のご提供に感謝いたします。(平成29年6月1日～8月31日)

折田民子 尾澤信子 赤尾浩子 神田由美子 澤田幸子 古賀 不二園芸

□ ボランティアに感謝いたします。(平成29年6月1日～8月31日)

ほかほか弁当 園田店 佐々木映世 坂井恵美子

(敬称略 順不同)

発行人 社会福祉法人 北摂杉の子会
理事長 松上 利男

発行所 北摂杉の子会

住 所 大阪府高槻市城北町1丁目6-8

発行日 2017年10月10日

定価100円

施設住所一覧

- **社会福祉法人 北摂杉の子会 法人本部事務所
人材育成研修室**
(法人独自の公益事業<研修・講師派遣・コンサルテーション>)
〒569-0071 高槻市城北町1丁目6-8 奥野ビル3F
TEL (072)662-8133 FAX (072)662-8155
[E-mail] info@suginokokai.com
[URL] http://www.suginokokai.com
- **知的障害者生活施設 萩の杜** (施設入所支援・生活介護)
〒569-1054 高槻市大字萩谷14番地1
TEL (072)699-0099 FAX (072)699-0130
[E-mail] haginomori@suginokokai.com
- **萩の杜ショートステイセンター ぶれす**
(短期入所・日中一時支援)
〒569-1054 高槻市大字萩谷14番地1
TEL (072)699-0844 FAX (072)699-0130
[E-mail] breath@suginokokai.com
- **グループホーム とんだ** (共同生活援助)
〒569-0814 高槻市富田町5-13-14 101号室
- **グループホーム みやた** (共同生活援助)
〒569-1142 高槻市宮田町3-4-1 105号室
- **レジデンスなさはら** (共同生活援助)
〒569-1041 高槻市奈佐原3丁目15番1号
- **ジョブサイトひむろ** (生活介護)
〒569-1141 高槻市氷室町1丁目14-27
TEL (072)697-2234 FAX (072)697-2222
[E-mail] himuro@suginokokai.com
- **高槻地域生活総合支援センター ぶれいす Be**
(生活介護・就労継続支援B型・短期入所・日中一時支援)
〒569-1131 高槻市郡家本町5番2号
TEL (072)681-4700 FAX (072)681-4900
[E-mail] placebe@suginokokai.com
<短期入所> TEL (072)681-4720
- **生活支援センター あんだんて**
(指定特定相談支援・指定一般相談支援事業)
〒569-1131 高槻市郡家本町5番2号
TEL (072)681-4755 FAX (072)681-4900
[E-mail] andante@suginokokai.com
- **大阪府発達障がい者支援センター アクトおおさか**
(発達障害者支援センター事業)
〒540-0026 大阪市中央区内本町1丁目2-13
谷四ばんらいビル10F
TEL (06)6966-1313 FAX (06)6966-1531
[E-mail] act-osaka@suginokokai.com
[URL] http://homepage3.nifty.com/actosaka/
- **サポートセンターPASSO**
(児童発達支援・放課後等デイサービス事業)
〒532-0023 大阪市淀川区十三東1丁目1番6号
TEL&FAX (06)4862-5454
[E-mail] passo@suginokokai.com
[URL] http://oasc.jp
- **児童デイサービスセンター an**
(児童発達支援・放課後等デイサービス事業)
〒532-0023 大阪市淀川区十三東2丁目4番2号
TEL (06)6838-8990 FAX (06)6838-7015
[E-mail] an@suginokokai.com
[URL] http://oasc.jp
- **こども発達支援センター will**
(児童発達支援・放課後等デイサービス事業)
〒569-0071 高槻市城北町1丁目6-8 奥野ビル2F
TEL (072)662-0100 FAX (072)662-0056
[E-mail] will@suginokokai.com
- **こども相談支援センター wish**
(指定特定相談支援・指定障害児相談支援事業)
〒569-0071 高槻市城北町1丁目6-8 奥野ビル2F
TEL (072)605-1140 FAX (072)662-0056
[E-mail] wish@suginokokai.com
- **自閉症療育センター Link**
(児童発達支援・放課後等デイサービス事業)
〒573-0032 枚方市岡東町24-10 アイエス枚方ビル3F
TEL (072)841-2411 FAX (072)841-2412
[E-mail] link@suginokokai.com
- **こども発達支援センター az**
(児童発達支援・放課後等デイサービス事業)
〒558-0003 大阪市住吉区长居2丁目4-1 サンテ長居1F
TEL (06)6654-8777 FAX (06)6654-8780
- **ジョブサイトよど** (生活介護)
〒532-0023 大阪市淀川区十三東2丁目4番2号
TEL (06)6838-7007 FAX (06)6838-7015
[E-mail] yodo@suginokokai.com
- **ジェイ・ランチよど** (就労継続支援B型)
〒532-0023 大阪市淀川区十三東2丁目3番10号
TEL (06)6303-9430 FAX (06)6195-3710
[E-mail] yodo_branch@suginokokai.com
- **ジョブジョイントおおさか**
(自立訓練<生活訓練>・就労移行支援)
〒532-0023 大阪市淀川区十三東1丁目1番6号
TEL (06)6100-0150 FAX (06)6309-3007
[E-mail] jj@suginokokai.com
- **ジョブジョイントおおさか たかつきランチ**
(自立訓練<生活訓練>・就労移行支援)
〒569-0072 高槻市京口町9番3号 関西産業ビル1F・4F
TEL (072)668-1123 FAX (072)668-1165
[E-mail] jj@suginokokai.com
- **法人自主製品店舗
よどのコロッセ**
〒532-0023 大阪市淀川区十三東2丁目10番10号
TEL (06)6306-4096
営業時間：10：30～17：00(土・日・祝定休)
- **「LaLa-chocolat (ララ ショコラ) /TAKATSUKI」**
就労継続支援B型
〒569-0091 高槻市城北町2丁目13番2号
TEL (072)668-5055 FAX (072)668-5081
営業時間：10：00～19：00(日・祝休み)

※■は行政よりの委託事業